

## 議会事業評価表

事業名	審議会設置による議員定数の改正				
評価	5	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：議会基本条例第25条 所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会設置条例 所沢市議会意見提案手続実施要綱</p> <p>平成24年3月定例会において「所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会設置条例」を制定し、議会基本条例第23条に規定する附属機関となる「所沢市議会議員定数のあり方に関する審議会」を設置した。審議会では、有識者2名、知識者（各種団体代表）2名、自薦公募市民1名の5名で組織された審議会委員により、5月14日、7月30日、10月22日の3回にわたり諮問した「議員定数の算出根拠等」について協議が行われた。本審議会の運営に当たっては、委員会に作業部会を設置し、審議会の工程表、審議会資料の取りまとめなどを行った。</p> <p>平成24年11月29日、審議会より提出された答申は、「①議会活動を行うに当たり最も望ましい議員定数は常任委員会数（4）×委員数（9）＋議長（1）の合計37人となる。②当面の情勢下における政治的判断として若干の定数減を行う場合、常任委員会数（4）×委員数（8）＋議長（1）の合計33人を下限とすることが望ましい。」との内容だった。</p> <p>その後の協議により、答申を尊重した「議員定数（素案）」をもって、意見提案手続及び公聴会を行うことを決め、平成25年1月7日から18日にかけて意見提案手続を、2月5日には公聴会を実施した。その後、「議員定数（素案）」に基づく定数条例改正案を平成25年3月定例会で提案することが決定され、定例会最終日「議員定数を36人から37人にする。経過措置として当分の間33人とする。」との定数条例改正案が賛成多数で可決された。</p> <p>議員定数の改正という課題を議員間討議において進めていくよりも、第三者機関による客観的判断を求め纏めるといった試みは所沢市議会としても初めての取組であったが、非常に意味のあるものであった。</p> <p>定数条例を改正したことをもって本事業は終了と評価するが、議員定数については、33人で行われる次の一般選挙後において、その期の議員により協議することが必要であると考えます。</p>					
委員長名	議会運営委員長 西沢 一郎				

評価日：平成25年5月28日

## 議会事業評価表

事業名	所沢市議会災害対策会議設置要綱の制定				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：所沢市議会災害対策会議設置要綱</p> <p>平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、岩手、宮城、福島の東北3県を始め東日本地域は千年に一度という大災害に見舞われた。幸い所沢市は、震度5弱と大きな揺れを観測するにはいならず、災害も軽微なものにとどまった。</p> <p>執行部は、地域防災計画に基づき「所沢市災害対策本部」を設置し、市内の被害状況の把握、被災者支援の対応を行った。</p> <p>議会も、定例会を予定より早く閉会し、執行部への全面協力を全会一致で決定するが、市議会としての災害対応の中心となる本部の設置の必要性が課題となった。</p> <p>平成25年1月、福島市議会を訪問し、被災当事者として議会はどのように対応を行ったかを視察した。</p> <p>その後、議会運営委員会で協議を行い、「所沢市議会災害対策会議設置要綱」を制定し、地震その他の災害発災時には、所沢市災害対策本部に協力するための「所沢市議会災害対策会議」を設置することを決定した。（平成25年4月1日施行）</p> <p>本事業は、要綱制定をもって完了するものではなく、今後は、不測の事態に備える体制整備や設置訓練などについても検討していく必要があると考え、継続と評価する。</p>					
委員長名	議会運営委員長 西沢 一郎				

評価日：平成25年5月28日

## 議会事業評価表

事業名	第2回政策討論会の実施				
評価	1	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：議会基本条例第3条第2号及び第3号並びに第13条 所沢市議会政策討論会設置要綱</p> <p>平成25年2月9日、第2回政策討論会を市庁舎3階全員協議会室で行った。前回の反省を踏まえ、討論者を12名から8名に絞り、活発な議論が行われるようにした。</p> <p>テーマを「地域福祉を考える」とし午後2時より約2時間の討論が行われた。当日の流れは、初めに座長から地域福祉についての基調解説があり、その後論点を①自身がイメージする地域福祉とは？②地域福祉の目指すところは何か？③地域福祉を支えていく主体者は誰なのか？の3つに設定し討論を行った。</p> <p>この日の討論で明確になった課題は①個人情報への在り方②地域福祉と地域コミュニティの在り方の2点で、これらの課題については、教育福祉常任委員会の検討事項とすることがその後の正副委員長連絡協議会において確認された。</p> <p>議会基本条例第13条に規定される政策討論会は、市長等から提案される議案にかぎらず、特定のテーマについて各議員が活発に意見等の交換を行い、共通認識を醸成することを目的に実施しているが、これまでの評価に加え、議会における政策形成サイクルの整備という点において重要な機能と考えることから、「政策討論会実施要綱」を見直すことを含め、引き続き協議していくことが必要と考え、拡充と評価するものである。</p>					
委員長名	議会運営委員長 西沢 一郎				

評価日：平成25年5月28日

## 議会事業評価表

事業名	予算委員会設置の協議				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：議会基本条例第2条 委員会条例第6条</p> <p>所沢市議会においては、予算議案は常任委員会へ分割付託されているが、行政実例からみれば議案は不可分であるという議案一体の原則に反するため、その手続きは違法とする見解もある。そのため、予算常任委員会、もしくは予算特別委員会を設置し予算を一括付託、審議する体制が必要との課題認識により、重点的に協議を行った。</p> <p>平成24年11月に八王子市議会、平成25年1月に山形市議会を訪れ、両市議会の予算特別委員会の運営状況を視察した。</p> <p>視察を通じてそれぞれの議会運営の違いを認識することができ、平成25年第1回定例会において特別委員会を設置するための会期日程の協議等を行ったが、常任委員会・特別委員会どちらを選択するのか、会期日程の問題、一般質問のあり方、4常任委員会へ議案の付託のあり方など課題は多く、また決算特別委員会との連動なども挙げられたことから平成25年3月定例会での設置は見送られたが、予算審議のあり方については常に課題として認識されているものであり、今後引き続き協議を行っていくことが委員会で確認されたことから、継続と評価するものである。</p>					
委員長名	議会運営委員長 西沢 一郎				

評価日：平成25年5月28日